

## 会員の声(正会員)

太陽ケーブルテック株式会社

代表取締役社長 谷口 明廣 氏を訪ねて



今回は大阪府大阪市にある「太陽ケーブルテック株式会社」を訪問し、大阪の繁華街を見渡す大変展望の良い部屋で谷口社長と人事総務部の百合様にお話を伺いました。

### 1) 会社の生い立ち・沿革

1908年に大阪の天王寺区で谷口電線製造所として創立され、その後1923年7月26日に会社組織化された太陽電線株式会社となりました。

その後、1978年にはロボットケーブル(可動用ケーブル)を扱うようになり、機械化・自動化が進む時代の流れに乗って事業も大きくなり現在まで発展してまいりました。

2008年には、現在の「太陽ケーブルテック株式会社」へ社名を変更し、2023年には創立100周年を迎えることができました。

### 2) 事業・製品構成

産業機器用のケーブルを中心に多くの業界で当社のロボットケーブルが使用されています。

例えば、自動車工場の作業用ロボットや搬送機器をはじめ、半導体製造装置、FA(ファクトリーオートメーション)用の機器配線、ホーム柵、制御盤配線、医療用機器設備などです。

### 3) 開発状況・今後の事業展開

現在のファクトリーオートメーションの需要に対応するFA用ケーブルやロボット・搬送機器用の可動用ケーブルなど産業機器用のケーブルを中心に事業展開を行っています。また、今後は、その中でも通信用ケーブル(イーサネットケーブル)、医療機器用ケーブルの販売シェアを拡大していくために更なる開発を進めたいと考えています。

#### 4) 経営理念・方針

- 一、優良製品の適正提供
- 一、社会環境変化適応型企業の構築
- 一、国際社会に通用する優秀人材の育成

当社では、3つの経営理念・方針を掲げており、その中でも、高品質・短納期の優良製品を適正な価格で提供することを追求して参ります。

#### 5) 環境への配慮

「化審法」「RoHS2」等に対応した人の健康や環境を保護するために特定の有害物質の使用を制限された材料を使用したケーブルの開発・製造の実施、SDGsの取組みとしては、

- ①当社の優れたケーブル製造技術を通じて質の高いインフラ整備へと繋げ、持続可能な産業の発展へ貢献。
- ②生産工場では太陽光パネルを設置し、再生エネルギーを活用。
- ③製品物流では個別出荷を止め、チャーター便で定期的に製品・材料を纏めて運搬し、車の排出ガスの量を抑える活動。
- ④長寿命ケーブルや細径ケーブルの開発で、廃棄率や資源の使用量の削減。
- ⑤工場で使用する水の循環利用や、地下水の有効活用。化学物質を含んだ汚水を排出しない取り組み。

など、各種活動を進めています。

#### 6) 趣味・健康法

以前は、観光・スポーツ観戦・グルメなどが趣味でしたが、最近は、古城めぐりがマイブームです。日本200名城を巡った人に与えられる登城認定を取るため、現在その7割ぐらいを達成しています。結果的によく歩く様になり、グルメ少し控えめと合わせて健康法にもなっています。

#### 7) JECTEC に対する意見・要望

社内教育の一環として、JECTEC開催の押出技術研修会の参加も考えております。また、海外規格の更新に伴う評価・試験方法の解釈について情報提供してもらえるとありがたいです。

#### インタビューを終えて・・・

谷口社長が語られる事業展開の夢は同業やお客様といっしょに作り上げるもので、そのスケールに心躍りました。社内教育のご苦勞話に共感し、屈曲特性の技術的な話には、苦勞する点はやはり同じだと納得するなど、熱のこもったお話を聞いているうちにあっという間に時間が来てしまいました。特にご趣味のお城巡りをされているときの表情は柔和で本当に楽しそうでした。見せていただいた宇和島城の写真は、朝早く起きて撮りにいかれたとのことで朝日に浮かび、輝くうろこ状の雲を背景とした見事なものでした。数多くの城趾を回られ、その城趾の歴史、地理を調べられる好奇心が社長のエネルギー源なのだと勝手に納得した次第です。



(聞き手：

センター長 小田 勇一郎

主管(次期センター長) 加藤 武志

広報・研修部 部長 増井 暁)